

詩歌を読む4ステップ



**詩**

色・音・動き・比喩・繰り返しなどの表現に注目。

**短歌**

五・七・五・七・七を基本に、情景と心情のつながりを見る。

**俳句**

五・七・五を基本に、季語や切れ、短い言葉の効果を見る。

鑑賞は「感じたこと」だけで終わらず、作品中のどの表現からそう考えたのかを確かめよう。

鑑賞の4ステップ

問1 基礎

次の四つを正しい順番に並べなさい。

**ア** 心情を考える   **イ** 根拠を使って鑑賞する   **ウ** 表現を見つける   **エ** 情景を思い浮かべる

**解答：**ウ→エ→ア→イ

補足：表現を手がかりに情景を捉え、その情景から心情を考え、最後に根拠を示して鑑賞する。

注目する表現

問2 基礎

詩歌の情景を思い浮かべる手がかりとして最も適切なものはどれですか。

**ア** 色や音や動きを表す言葉   **イ** 作品を書いた紙の大きさ   **ウ** 問題用紙のページ番号

**解答：**ア

補足：色や音や動きを表す言葉は、場面を具体的に想像する手がかりになる。

詩・短歌・俳句の違い

問3 基礎

詩・短歌・俳句について正しい説明はどれですか。

**ア** 短歌は五・七・五・七・七を基本とする   **イ** 俳句は必ず三十一音で作る   **ウ** 詩には必ず季語を入れる

**解答：**ア

補足：短歌は五・七・五・七・七の三十一音を基本とする。俳句は五・七・五の十七音を基本とする。

確認問題

問4 基礎

次の表現から読み取りやすいことはどれですか。『夕焼けが校舎の窓を赤く染めた』

**ア** 時間帯や光の様子   **イ** 話し手の名前   **ウ** 校舎の階数

**解答：**ア

補足：『夕焼け』『赤く染めた』から夕方の光景を読み取ることができる。

名前

詩『朝の坂』

まだ冷たい手すりに  
朝日が細くのびている  
ぼくは鞆を持ち直し  
坂の上へ歩き出す

詩『雨あがり』

水たまりの空を  
自転車のタイヤが割っていく  
雲のすき間から  
青が少しずつ広がった  
ぼくも少し顔を上げた

情景を読み取る

問1 基礎  
上の詩『朝の坂』を読みなさい。この詩に描かれている時間帯を答えなさい。

解答：朝  
補足：『朝日』という言葉から判断できる。

問2 基礎  
上の詩『雨あがり』を読みなさい。描かれている天気の変化として最も適切なものはどれですか。ア 雨が降り始めた イ 雨がやみ空が晴れ始めた ウ 雪が降り始めた

解答：イ  
補足：『水たまり』『雲のすき間』『青が少しずつ広がった』から、雨上がりに晴れていく場面とわかる。

心情を読み取る

問3 標準  
詩『朝の坂』の『鞆を持ち直し／坂の上へ歩き出す』から読み取れる気持ちとして最も適切なものはどれですか。ア 坂の上へ向かって進もうとする気持ち イ 坂から逃げ出したい気持ち ウ 誰かに怒っている気持ち

解答：ア  
補足：鞆を持ち直して自分から坂の上へ歩き出す動作が、先へ進もうとする様子を表している。

問4 標準  
詩『雨あがり』の最後の二行から感じられる気持ちとして最も適切なものはどれですか。ア 空が明るくなるにつれて気持ちも上向いていく イ 雨が強くなり不安になる ウ 夜が近づき眠くなる

解答：ア  
補足：『青が少しずつ広がった』あとに『ぼくも少し顔を上げた』とあるため、空の変化とともに話し手の気持ちも上向く様子が読み取れる。

表現の効果

問5 標準  
詩『雨あがり』の『水たまりの空を／自転車のタイヤが割っていく』という表現の効果として最も適切なものはどれですか。ア 水たまりに映った空がタイヤによって崩れる動きを印象的に表す イ 自転車が本当に空まで飛んでいく様子を表す ウ 水たまりが凍って割れる様子を表す

解答：ア  
補足：水面に映った空がタイヤの通過によって崩れる様子を『割っていく』と表している。

問6 標準  
詩『朝の坂』の『朝日が細くのびている』という表現から感じられる様子として最も適切なものはどれですか。ア 朝の光が差し込んでいる イ 真夜中で周囲が真っ暗である ウ 大雨で前が見えない

解答：ア  
補足：朝日の光が細長く差している情景を表している。

情景と心情を結ぶ

問7 標準  
詩『朝の坂』で、話し手が新しい一日に向かって進み始めたことがわかる表現を一つ抜き出しなさい。

解答：坂の上へ歩き出す  
補足：『鞆を持ち直し』も前向きな動作だが、進み始めたことを最も直接示すのは『坂の上へ歩き出す』である。

問8 標準  
詩『雨あがり』について、情景と話し手の気持ちの変化を三十字程度で書きなさい。

解答：雨がやんで青空が広がるにつれ、ぼくの気持ちも少しずつ上向いていく。  
補足：『青が少しずつ広がった』『ぼくも少し顔を上げた』が根拠。情景と気持ちの変化の両方をまとめる。

短歌を読む

問1 標準

短歌『校庭の／白線うすく／秋の風／走ったあとの／息まだ熱い』を読みなさい。この短歌の主な場所を答えなさい。

解答：校庭

補足：初句の『校庭の』から判断できる。

問2 標準

短歌『校庭の／白線うすく／秋の風／走ったあとの／息まだ熱い』で、走った直後の体の状態がわかる部分を抜き出しなさい。

解答：息まだ熱い

補足：走り終えた後も息が熱いという体の状態が具体的に表されている。

短歌の心情

問3 標準

短歌『駅前の／時計見上げて／手を振れば／角曲がるまで／君を見ていた』に描かれている場面として最も適切なものはどれですか。

ア 誰かと別れた直後    イ 誰かを迎えに行く途中    ウ 一人で試合をしている最中

解答：ア

補足：手を振ったあとも相手が角を曲がるまで見送っていることから、別れの場面とわかる。

問4 標準

短歌『駅前の／時計見上げて／手を振れば／角曲がるまで／君を見ていた』の結句『君を見ていた』から感じられる心情として最も適切なものはどれですか。

ア 別れを名残惜しく感じる気持ち    イ 相手に強く腹を立てる気持ち    ウ 勝負に勝って誇らしい気持ち

解答：ア

補足：相手が角を曲がるまで見送り続ける様子から、別れの名残惜しさが読み取れる。

俳句を読む

問5 標準

俳句『夕立や／雨粒光る／駅の窓』を読みなさい。この俳句の季節を答えなさい。

解答：夏

補足：『夕立』は夏の季語である。

問6 標準

俳句『夕立や／雨粒光る／駅の窓』に描かれている情景として最も適切なものはどれですか。

ア タ立の雨粒が駅の窓で光っている    イ 雪が駅の窓を真っ白に覆っている    ウ 強い日差しで駅の窓が乾いている

解答：ア

補足：『夕立』『雨粒光る』『駅の窓』をそのまま結び付けて読める。

俳句の表現効果

問7 標準

俳句『朝霜や／靴音ひびく／通学路』の『や』にはどのような効果がありますか。

ア 『朝霜』を強く印象付け、そこで一度切って後の情景へつなぐ    イ 文章を疑問文にする    ウ 季節を夏に変える

解答：ア

補足：切れ字『や』によって『朝霜』が強調され、その後の音の描写へ場面が広がる。

問8 標準

俳句『朝霜や／靴音ひびく／通学路』で『靴音ひびく』と表したことで、どのような朝の様子が伝わりますか。

解答：周囲が静かで、靴音がはっきり響く冷たい朝の様子。

補足：静けさと寒い朝の雰囲気の両方が読み取れていればよい。

鑑賞文を書こう

名前

詩『返事』  
窓辺の鉢に  
昨日までなかった芽が出た  
小さな緑に向かって  
おはようと言うと  
風がカーテンを揺らした  
返事のように

鑑賞文を読み取る

問1 発展

上の詩『返事』を読みなさい。この詩の鑑賞文として最も適切なものはどれですか。  
ア『おはよう』『返事のように』という表現から、芽や風を身近な存在として受け止める話し手の自然への親しみが表れている イ私は植物を育てたことがあるのでこの詩が好きだ ウこの詩は六行で書かれている  
解答：ア  
補足：『おはよう』『返事のように』という作品中の表現を根拠に、自然への親しみを述べている。

問2 発展

『風をまるで話し相手からの返事のように感じている』という鑑賞の根拠となる表現を、詩『返事』から抜き出ささい。  
解答：返事のように  
補足：風の動きを返事にたとえて受け止めていることが直接示されている。

根拠を探す

問3 発展

詩『返事』で、芽が出たことが新しい変化だとわかる一行を抜き出ささい。  
解答：昨日までなかった芽が出た  
補足：『昨日までなかった』と『芽が出た』を対比することで、新しく起こった変化だとわかる。

問4 発展

詩『返事』で、話し手と自然との距離が近く感じられる理由として最も適切なものはどれですか。  
ア芽に『おはよう』と話しかけ、風を返事のように受け止めているから イ鉢の大きさが詳しく書かれているから ウ窓の外の天気が説明されていないから  
解答：ア  
補足：芽に語りかけ、風の動きを返事のように感じることで自然への親しみが表れている。

鑑賞文を完成させる

問5 発展

次の鑑賞文を完成させなさい。『昨日までなかった芽が出た』という表現から、話し手が\_\_\_\_\_ことが伝わる。  
解答：芽が出たことを新しい発見として受け止めている  
補足：『芽が出たことを新鮮に感じている』など、新しく現れた芽に気づいていることが示されていればよい。

問6 発展

次の三つを自然な鑑賞文になるように並べなさい。  
ア自然への親しみが感じられる イ『返事のように』という表現から ウ風の動きを返事として受け止める話し手の  
解答：イ→ウ→ア  
補足：『根拠となる表現→読み取れる内容』の順にすると、筋道の通った鑑賞文になる。

自分で鑑賞する

問7 発展

詩『返事』について、作品中の表現を一つ取り上げ、その表現から感じられる話し手の心情や作品の印象を書きなさい。  
解答：『返事のように』という表現から、話し手が自然を身近な存在として親しみ、芽が出たことを喜んでいる様子が感じられる。  
補足：作品中の具体的な表現を一つ示し、その表現と心情または作品の印象を適切に結び付けていればよい。

詩『放課後』

チャイムが止んだ教室に  
西日の帯がのびている  
机を寄せる音がして  
笑い声が廊下へ遠ざかる  
わたしは黒板のすみに  
残った一文字を消した  
今日が静かに閉じていく

詩の総合問題

問1

テスト

上の詩『放課後』を読みなさい。この詩に描かれている時間帯を答えなさい。

解答：夕方

補足：『西日』という言葉から判断できる。

問2

テスト

詩『放課後』で、人が教室から離れていく様子が最もよくわかる一行を抜き出しなさい。

解答：笑い声が廊下へ遠ざかる

補足：笑い声が遠ざかることで、ほかの生徒たちが教室から離れていく様子が伝わる。

問3

テスト

詩『放課後』の最後の一行『今日が静かに閉じていく』の効果として最も適切なものはどれですか。

ア 一日の終わりを静かな余韻とともに表している    イ 教室のドアが壊れたことを説明している    ウ 一日が急に始まる様子を表している

解答：ア

補足：『今日』を『閉じていく』と表すことで、一日の終わりを印象的に表している。

短歌の総合問題

問4

テスト

短歌『改札を／ぬければ雨の／匂いして／胸なつかしく／君思い出す』を読みなさい。話し手が『君』を思い出すきっかけとなった言葉を抜き出しなさい。

解答：雨の匂い

補足：雨の匂いを感じたことがきっかけとなり、「君」のことを懐かしく思い出している。

問5

テスト

短歌『改札を／ぬければ雨の／匂いして／胸なつかしく／君思い出す』に表れている心情として最も適切なものはどれですか。

ア 雨の匂いから『君』との記憶を懐かしく思い出す気持ち    イ 傘を買えたことを自慢する気持ち    ウ 改札の場所がわからず怒る気持ち

解答：ア

補足：『胸なつかしく』とあるため、雨の匂いをきっかけに『君』との記憶を懐かしく思い出しているとわかる。

俳句の総合問題

問6

テスト

俳句『秋風や／白線だけが／校庭に』を読みなさい。この俳句の季節を答えなさい。

解答：秋

補足：『秋風』が季節を直接示している。

問7

テスト

俳句『秋風や／白線だけが／校庭に』から感じられる印象として最も適切なものはどれですか。

ア 人の姿がなく静かな校庭の寂しさ    イ 大勢が歓声を上げるにぎやかさ    ウ 真夏の強い暑さ

解答：ア

補足：『白線だけが』という表現が、人のいない静かな校庭を強く印象付けている。

鑑賞記述

問8

テスト

詩『放課後』について、作品中の表現を一つ根拠として挙げ、作品全体から感じられる情景または心情を鑑賞文として書きなさい。

解答：『笑い声が廊下へ遠ざかる』という表現から、にぎやかだった放課後が終わり、教室が静けさに包まれていく様子が感じられる。

補足：作品中の具体的な表現を根拠として挙げ、その表現と放課後の終わりや静けさを適切に結び付けていればよい。